

第54回全国入浴福祉研修会 ～開催報告～

デベロ老人福祉研究所が主催する第54全国入浴福祉研修会を2月23日に東京都中央区
の紙パルプ会館にて開催しました。

基調講演では、神奈川県横浜市で在宅療養
支援診療所めぐみ在宅クリニックを運営される
小澤竹俊 医師より「死を前にした人にあなた
は何ができますか?」と題し、ご登壇いただきま
した。



基調講演の小澤 竹俊 医師

「看取り」の実践者としての小澤先生のメッセージは奥
深く、「相手を理解する」よりも、「寄り添う」ことの重要性
について、事例を挙げてご説明いただきました。患者
(利用者)・家族を支えるために、思いをくみ取る技術や
その考え方について演習を交えた講義は、時間があつ
という間に過ぎてしまう貴重な内容の講演でした。

「行政説明」では、厚生労働省老健局振興課より宮本和也係長にご登壇いただき、平成30
年度の介護報酬改定の詳細や、介護事業所における生産性向上推進事業についてなど今
後の介護分野における方向性をご説明いただきました。

同日開催: 平成29年度老人保健健康増進等事業

「小規模多機能型居宅介護等における入浴のあり方に関する調査・研究事業」の
報告会を開催しました。

第2部では、デベロ老人福祉研究所が実施しました、「小規模多機能型居宅介護等における入浴
のあり方に関する調査・研究事業」の報告会を行いました。

今回の調査・研究事業では、訪問入浴以外での「在宅での入浴支援」に着目、これからの地域包
括ケアの一翼を担う小規模多機能型居宅介護における入浴支援の状況等について調査を実施し
ました。

また、在宅介護の促進を「入浴ケアの観点」から説明したリーフレットを作成しました。住み慣れた
地域や家で、どのような要介護状態であったとしても安心して入浴が提供されることを目的としてい
ます。報告書やリーフレットはデベロホームページでご覧いただいたり、ダウンロードしてご利用いた
だけますので、アクセスをお待ちしております。

デベロホームページ: <http://www.develo-group.co.jp>



リーフレット内にて作成されたイラスト(ピクトグラム)はダウンロードすることでご利用いただけます。

WEBサイト「お風呂info」新企画 お風呂の医学研究者の早坂先生が動画で解説!!



早坂信哉 先生

NHK 総合「あさイチ」、日本テレビ「世界一受けたい授業」、TBS「ビビット」、テレビ朝日「たけしの家庭の医学」など出演多数。

テレビなどのメディアでも活躍中の、お風呂を医学的見地で
研究する早坂信哉先生による動画解説コーナー「教えて!!早坂
先生」を配信します。
高齢者の入浴時の注意点や要介護になった時にお風呂はど
うする?などシリーズで解説いただきます。

詳しくはお風呂infoへ!! <http://o-fu-ro.info/>



動画解説「教えて!!早坂先生」見どころ紹介 — 加齢に伴う動脈硬化とは? —

動脈硬化とは?

動脈が年齢とともに老化し、弾力性が失われて硬くなったり、動脈内にさまざまな物質が沈着して血管が狭くなり、血液
の流れが滞る状態を動脈硬化といいます。

入浴時の動脈硬化に関する注意点

入浴によって発汗、腎血流量の増加による尿量増量により体内水分が減
少します。

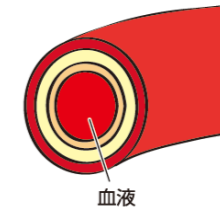
高齢者は水分保持能力が低いので血液の濃縮、血液粘度の上昇を招き
ます。動脈硬化が進んだ高齢者では、血液循環を妨げ、血栓ができてしまう
危険性もあります。



ワンポイント!!

動脈硬化は高齢者全般に見られる現象です。だからこそすべての高齢者の入浴
では、水分補給や湯温管理がとて重要になります。

正常な血管



血液

動脈硬化を
起こした血管



血液が
通る部分が狭い

コレステロールの沈着

古今東西
その3 ペリー来航とお風呂

お風呂にまつわるちょっとした小話「お風呂古今東西」は、
お風呂infoにて連載中。 <http://o-fu-ro.info/>

1853年、ペリー来航により鎖国が解かれると、日本のお風呂事情にも徐々に変化が表れました。海外の文化や技術が
導入され石鹸の工場生産が始まるなど、それまでにはなかった新たなお風呂文化が始まります。

たとえばシャンプー(当時は髪洗い粉と呼ばれる)や蛇
口(カラン)が誕生したのもこの時代です。そこから銭湯の
時代を経て、1965年には自宅風呂が普及していきます。

そもそも「日本のお風呂」の歴史は古く、6世紀中頃の
仏教伝来により、「汚れを洗うことは仏に仕える者の大切
な仕事」として慣習化したとされています。また、現存する
日本最古の浴槽は東大寺にある「鉄湯船(1282年製
造)」との事です。

ところで、現在の入浴スタイルが確立したのは約50年
前とつい最近の事です。そこから現在までお風呂の形や
素材、入浴方法など、急激な変化を続けています。

日本のお風呂文化はきっとこの先も進化
を遂げていくのではないのでしょうか。



訪問入浴介護のお申込み・お問合わせは